

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

「ふれあおう まなびあおう かがやこう」
 <知> 共に学び合い、学習を深めようとする子を育てます。
 <徳> 自他の違いを認め合い、基本的自尊感情を高め、お互いを大切にする子を育てます。
 <体> 心と体を鍛え、自分や人の命を大切にする子を育てます。
 <公> 地域の人や自然とふれあい、進んで関わろうとする子を育てます。
 <開> 様々な人々とのコミュニケーションを通じて、お互いを理解しあえる子を育てます。

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

<自分づくりに関する力>

<言語能力>

具体化した資質・能力

《伝え合うことで自分の考えを深化させる力》

<主体的に取り組む力>
 <他者を理解する力>
 <自分の考えをもち、相手に分かりやすく伝える力>

中期取組目標

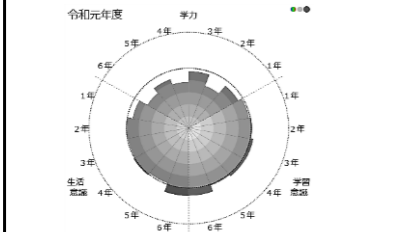
○子ども一人ひとりの思いを大切にしながら、対話的・協働的な学びを充実させます。
 (低)一人ひとりが自分の考えをもち、伝え合うことを通して、学び合う楽しさを実感できる授業づくりを推進します。
 (中)「人・もの・こと」との関わりの中で、思いを伝え合い、互いの考えを認め合うことのできる豊かな人間関係力の向上を図ります。
 (高)自ら進んで問題解決を図り、自分の考えや思いを表現し共に高め合えるような学習を通して、自分の考えを広げたり、深めたりできる授業づくりを目指します。
 (共通)各発達段階に応じて「聞く力」「話す力」「話し合う力」の能力を設定し、話し合うための基礎基本的なスキルの定着を図ります。
 ○「人」「もの」「まち」「自然」とのふれあいを大切に、本物にふれる体験を通して豊かな心を育てます。
 ・3年間を通して、新たな価値の発見の場を増やし、豊かな感性を育てます。

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
授業改善	「伝え合うことで自分の考えを深化させる力」を育成するために、「伝えたい！ 分かり合いたい！ 深めたい！」という子どもの姿を目指して研究に取り組んでいく。互いの意見を聞く中で、考えをより深めいけるように、低・中・高学年において目指す姿を設定し研究を進めていく。
担当	研究推進委員会

学力向上に関わる本校の状況

(1) 学力に関わる児童の実態(令和元年度調査より)円グラフから、どの学年においても横浜市の学力平均を下回っていることが分かる。学年によって、苦手とする観点に違いがあるものの、どの教科でも知識・理解の習得が十分とは言えず、基礎・基本の学力の定着が求められている。
 一方で、生活意識や学習意識については、横浜市の結果を上回る項目が多く、生活や学習を前向きに捉え、意欲的に活動しようとしていることが分かる。本校の児童の良さを生かすつ、学んだことを「生きてはたらき」していくために、身近な生活と結びつけた学習を大切に、友達と協働して解決したり、自ら新しい問いを見いだしたりしていくような授業展開や単元構成の工夫に取り組んでいきたい。



(2) これまでの学校の取り組み状況
 「伝え合うことで自分の考えを深化させる力」を育成するために、「子どもが学びたい課題づくり」を教科・領域において追究してきた。子どもが主体的に学びたいような課題の設定、導入の工夫、学習したことが実社会につながっていることを意識できるように身近な生活における問題を課題に設定する等の工夫をしてきた。「誰もが分かる、楽しい」授業を目指し、ICT機器を積極的に活用しながら学力向上を図るよう努めてきた。

今年度の目標

「伝え合うことで自分の考えを深化させる力」
 ～「伝えたい！ 分かり合いたい！ 深めたい！ 子どもの育成を目指して～」

目標を実現するための具体的行動プラン

○授業研究を軸にして研究を進めていく。授業研究は学年で研究を進め、授業発表を通して職員全体で協議し研鑽していく。また、外部講師による指導を受けながら研究を深めていく。

【低学年】 根拠をもって、思いや考えを表現する力【伝え合う】
 【中学年】 共通点・相違点を見つけ、関係性に気付く力【他者・自己理解】
 【高学年】 多面的・総合的に考える力【深化させる】

【授業研究会】
 第1回 6月10日
 第2回 7月8日
 第3回 9月16日

○授業研究を軸にして研究を進めていく。授業研究は学年で研究を進め、授業発表を通して職員全体で協議し研鑽していく。また、外部講師による指導を受けながら研究を深めていく。

【低学年】 根拠をもって、思いや考えを表現する力【伝え合う】
 【中学年】 共通点・相違点を見つけ、関係性に気付く力【他者・自己理解】
 【高学年】 多面的・総合的に考える力【深化させる】

【授業研究会】
 第4回 11月25日
 第5回 12月16日

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
人権教育 音楽教育・読書活動	人やものとの関わりの中から規範意識をもち、自分らしさをのびのびと発揮するとともに、他の人のよさを認め、共に生きることを大切にする心を育てる。音楽朝会で友達とひとつの音楽を作り上げることを通して、自分らしく表現することの楽しさを感じる心、友達の表現のよさを認める心を育てる。読書活動を通して、いろいろなものの見方や考え、感じ方に触れ、自分らしさや多様性について考えを深める。
担当	人権福祉委員会・音楽部・図書部

豊かな心に関わる本校の状況

(1) 豊かな心に関する児童の実態
 元気よく、素直な児童が多い。のびのびとしている反面、思いのままに行動し、トラブルになることもある。自分の思いを大切にすると同時に、自分の言動が相手や集団に与える影響について、考えて行動することが望まれる。一人ひとりの特性・個性を認め合い、多様性を受け入れる環境の中で、自分らしさを発揮していけるようにしていきたい。
 (2) これまでの学校の取組み状況
 ・児童指導を通して、全教職員が情報を共有し、他機関とも連携しながら課題解決に向けて取り組んできた。
 ・学校環境の材を生かし、地域の方々との連携を図る中で、栽培活動を通して、コミュニケーション能力を育ててきた。
 ・人権週間において、人権的な視点での授業実践、児童の委員会活動による取組み、校長の講話、外部機関を招いての携帯電話安全教室、命の授業などを行った。

今年度の目標

自己理解・他者理解を深め、自他ともに大切にする思いやりの心・多様性を認める心を育むために、人権的な視点をもった学習を行ったり、定期的に音楽朝会を実施したり、読書習慣を身に付けるための読書活動を推進したりする。

目標を実現するための具体的行動プラン

○音楽朝会(4月25日(全校)・5月19日(5年)・6月16日(2年)・9月15日(3年))
 ○読書の日(月二回程度 読書・読み聞かせ)
 ○学年ごとにテーマを設けた図書配架
 ○職員人権研修(2回)

上半期

下半期

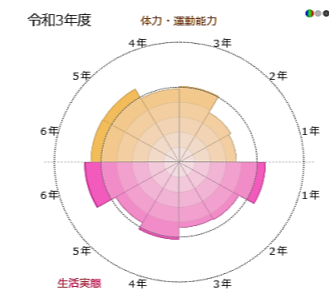
○音楽朝会(11月10日(4年)・12月1日(6年)・2月16日(1年)・2月27日(全校))
 ○読書の日(月二回程度 読書・読み聞かせ)
 ○学年ごとにテーマを設けた図書配架
 ○フットワーク(各学年)
 ○人権週間(12月・各学年の実態に合わせて、人権キャラバンや人権移動教室、認知症サポーター講座といった外部機関の出前授業等を活用して、人権に関して学び、考える機会を設定する。道徳等の学習の中で、様々な人権にかかわる問題に関する授業を実施する。児童の委員会による取組を行う。)

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	・家庭と連携し、規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培うとともに、食事や衛生に対する理解を深め、健康に生活することを意識できるようにする。 ・定期的に縄跳びや持久走などを行う集会を行い、楽しく体を動かす機会を設定する。
担当	体育部

健やかな体に関わる本校の状況

(1) 健やかな体に関する児童の実態
 令和3年度横浜市体力・運動能力調査では、「朝ご飯を毎日食べている」児童の割合が高いが、「たまに食べない」児童が一定数いる。また、「一日のパソコン・携帯電話・タブレット・ゲーム機の視聴時間」に関しては、長時間視聴する児童の割合が横浜市の平均に比べて多い学年がほとんどだった。
 運動能力に関しては、3～6年生が市の平均に近い能力があるとわかるが、1～2年生に関しては、市の平均を大きく下回っている。



(2) これまでの学校の取り組み状況
 コロナ禍で他者とのかわり方が限定される中で、できる限り運動量が確保できるような活動を考え実施してきた。
 運動会や、運動委員会が中心となって行う集会を通して、他学年と一緒に運動を楽しむことができる機会を設定した。

今年度の目標

○休み時間に運動をする児童を増やし、スポーツを通してのコミュニケーションの促進を図る。
 ○学校保健委員会を中心に健康づくりを推進する。

目標を実現するための具体的行動プラン

○楽しみながら運動に取り組む機会を増やすために、運動委員会を中心に「新体力テストで測定する種目」をテーマにした運動集会を定期開催する。
 ○課題解決に向けた実践につなげられるようにするために、横浜市体力・運動能力調査や健康診断の結果を一人ひとりの児童が振り返る時間を設定する。
 ○運動を通して「伝え合う」力を育成するために、体育科の授業で学習カードやタブレットを活用しながら、自分の考えをまとめたり、お互いにアドバイスし合ったりできるようにする。
 ○学校保健委員会では、手洗いのソングの作成や、手洗いの呼びかけを通して、衛生を意識した生活を送れるようにする。
 ○運動会に向けた活動を通して、他者と一緒に運動を楽しむことを知る。

上半期

下半期

○楽しみながら運動に取り組む機会を増やすために、運動委員会を中心に「縄跳び」をテーマにした運動集会を定期開催する。
 ○運動を通して「伝え合う」力を育成するために、体育科の授業で学習カードやタブレットを活用しながら、自分の考えをまとめたり、お互いにアドバイスし合ったりできるようにする。
 ○学校保健委員会では、換気と加湿チェックを通して、健康を維持するための環境を整えることを意識して過ごせるようにする。
 ○一年間の健やかな体に関わる取り組みを、学校だよりで家庭や地域に発信する。